

2014年4月28日

プロジェクト報告書

団体名 カリヨンタやけ荘

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

子どもたちに新しい体験を！「スキー旅行実施事業」

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

家庭での養育環境に恵まれず、あるいは社会的養護で育ってきた子どもたちは、不登校になったり、高校を中退するなどして、修学旅行の機会を失った子どもも少なくありません。子どもたちが社会に巣立ち、職場や友人関係の中で、「～したことがない」、「～を知らない」というハンディキャップを感じなくてすむように、発想豊かに世の中を案内したいと考えています。

また子どもは、ひとりぼっちで機会を与えられても、未体験のことに飛び込み、楽しむ余裕がありません。信頼できる大人が守り、教えてくれるという安心感の中で、道中やホテルでの立ち居振る舞いを学び、スキーという新たな楽しみを知る旅行を提案して差し上げたいと考えています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

5名の子どもと、4名の職員とで1泊2日「スキー旅行」に行きました。長野新幹線を利用し、軽井沢プリンスホテルに宿泊、そのゲレンデでスキーやスノーボードを楽しみました。家族旅行や修学旅行といった機会を奪われてきた子どもたちにとっては、初めての新幹線、初めてのスキー、初めてのホテル宿泊という方もおられました。余暇活動としての楽しみの可能性を広げること、新幹線の乗車やホテルの宿泊といった公的機関におけるマナーや態度を学ぶことができました。

軽井沢という日本有数のリゾート地を訪れたことが「ある」ということは、子どもたちのこれからの人生設計において嬉しい、誇らしい思い出になるのではないかと考えています。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

スキー初挑戦の子どもはスキースクールに参加して教えてもらい、うまく滑れなくて楽しくなくなってしまう…ちという状況が起こらないように工夫しました。また入居していた子ども全員が参加できたため、職員も全員で引率することができ、子どもひとりひとりと日常を離れた語らいや、関係性の構築を図ることができました。

子どもでいられる児童福祉最後のホームでは、就労を目的として生活しながらも、多方面での学び、社会経験も深めていただきたい、そして、育った境遇に屈せず、生き生きと人生を送る大人として巣立っていただきたいと考えており、とても貴重な経験をさせていただきました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

日々共に生活している子どもたちが素直に喜び、感動し、あるいはちょっとしり込みをしたり、面倒くさがつたり…それぞれの新たな一面を見ることができ、嬉しかったです。この旅行で体験できたこと、感じたことを大切に、旅行を計画し、そのために貯金、スケジュール管理、情報収集や予約手配をするといった一連の楽しみを、今度は子どもたちが自ら挑戦できるようになるといいなと思います。公的な補助、民間の助成金では、こうした余暇活動にあてる経費がなかなか認められません。ご支援に深く感謝申し上げます。自立した大人とは、よく働き、よく楽しむということをこれからも様々な工夫をこらしながら、子どもたちに伝えたいと思っています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり



軽井沢プリンスホテル



記念撮影

(子どもたちの顔は伏せさせて
いただいています。ご了承ください
さい)



スキーもなんとか格好になり
ました！